



Be the **Right ONE**

---

# 2022年3月期 中期経営計画達成に向けて

2019年11月1日  
豊田通商株式会社

<b>1. 注力分野の進捗報告</b>	<b>P. 3</b>
(1) アフリカ戦略	P. 5
(2) ネクストモビリティ戦略	P. 10
(3) 再生可能エネルギー戦略	P. 15
<b>2. 注力分野の掛け合わせ</b>	<b>P. 19</b>
(1) アフリカ × ネクストモビリティ	P. 21
(2) 再生可能エネルギー × アフリカ	P. 22
(3) ネクストモビリティ × 再生可能エネルギー	P. 23
<b>3. TICAD 7</b>	<b>P. 24</b>



Be the **Right ONE**

---

# 1. 注力分野の進捗報告

(1) アフリカ戦略

(2) ネクストモビリティ戦略

(3) 再生可能エネルギー戦略

# 1. 注力分野の進捗報告

## アフリカ



アフリカでのプレゼンス  
展開国 : 全54ヶ国  
従業員数 : 約15,500人



最後のフロンティア  
高い成長ポテンシャルを持つ



## ネクストモビリティ



日本最大の  
電子デバイス商社グループ



100年に一度と言われる  
自動車産業の転換期



## 再生可能エネルギー



国内風力発電業界の  
リーディングカンパニー



クリーンエネルギー需要  
の高まり



『当社の強み』 × 『伸びが予想される領域』 において更なる成長を目指す

# 1. 注力分野の進捗報告

## アフリカ



### アフリカでのプレゼンス

展開国 : 全54ヶ国  
従業員数 : 約15,500人



最後のフロンティア  
高い成長ポテンシャルを持つ



## ネクストモビリティ



日本最大の  
電子デバイス商社グループ



100年に一度と言われる  
自動車産業の転換期



## 再生可能エネルギー



国内風力発電業界の  
リーディングカンパニー



クリーンエネルギー需要  
の高まり

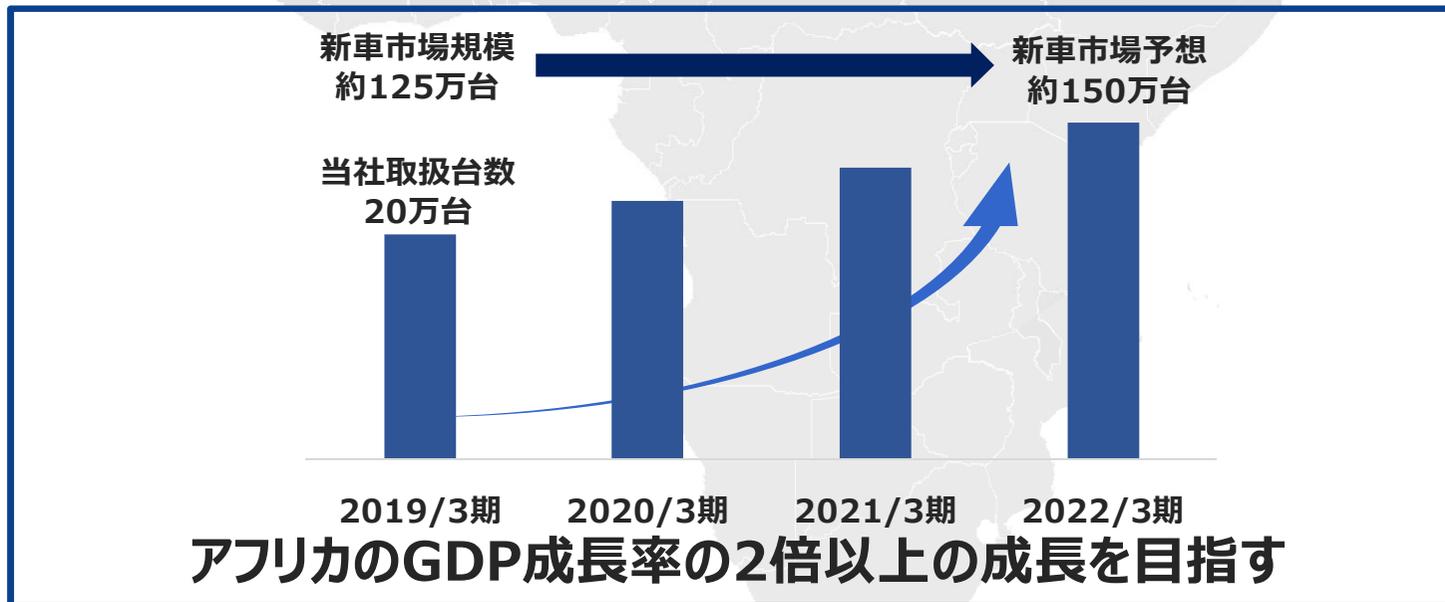


『当社の強み』 × 『伸びが予想される領域』 において更なる成長を目指す

# (1) アフリカ戦略 ～6つの柱によるトヨタビジネスの強化～

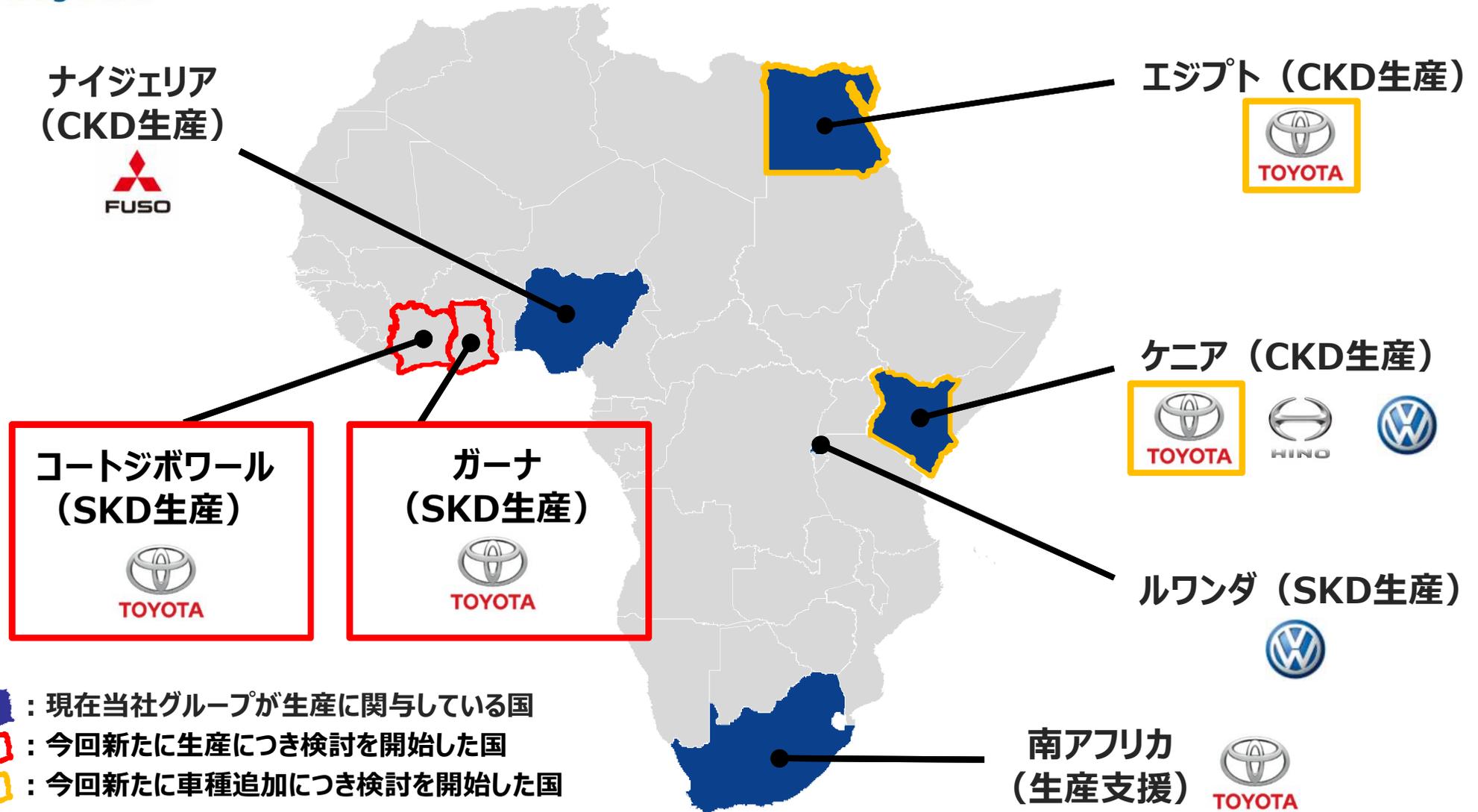


新車取り扱い台数目標イメージ



6つの柱を軸に、アフリカにおけるトヨタビジネスを強化

# (1) アフリカ戦略 ～② KD(ノックダウン)事業の推進～



※1 CKD…Complete Knock Downの略。部品単位で分解されている自動車を現地で組み立てる。  
 ※2 SKD…Semi Knock Downの略。CKDとは異なりボルトを締めるだけ等の簡単な加工にて組み立てる。

自動車の販売事業のみならず、市場ニーズに合わせて現地生産を推進

# (1) アフリカ戦略 ～⑥-1 バリューチェーン拡大～

## アフリカの中古車市場のポテンシャル



非正規の中古車市場  
(整備不良等の粗悪商品市場)



新車市場は  
約125万台  
(2018年)



正規中古車市場

新車  
市場



新車市場へ繋がる正規中古車市場にも積極的に対応

# (1) アフリカ戦略 ～⑥-2 バリューチェーン拡大～

## AUTOMARK

認定トヨタ中古車の販売



7カ国にて展開



30カ国(3年以内)

## 汎用部品取扱 (主にトヨタグループ製)

良品で廉価な部品供給網の整備



ケニアに5店舗



12カ国60店舗(3年以内)

## AutoFast

トータルとの自動車メンテナンス事業



5カ国14店舗



11カ国122店舗(3年以内)

自動車バリューチェーン拡大に向けてサービスを拡充

# 1. 注力分野の進捗報告

## アフリカ



アフリカでのプレゼンス

展開国 : 全54ヶ国  
従業員数 : 約15,500人



最後のフロンティア  
高い成長ポテンシャルを持つ



## ネクストモビリティ



日本最大の  
電子デバイス商社グループ



100年に一度と言われる  
自動車産業の転換期



## 再生可能エネルギー



国内風力発電業界の  
リーディングカンパニー



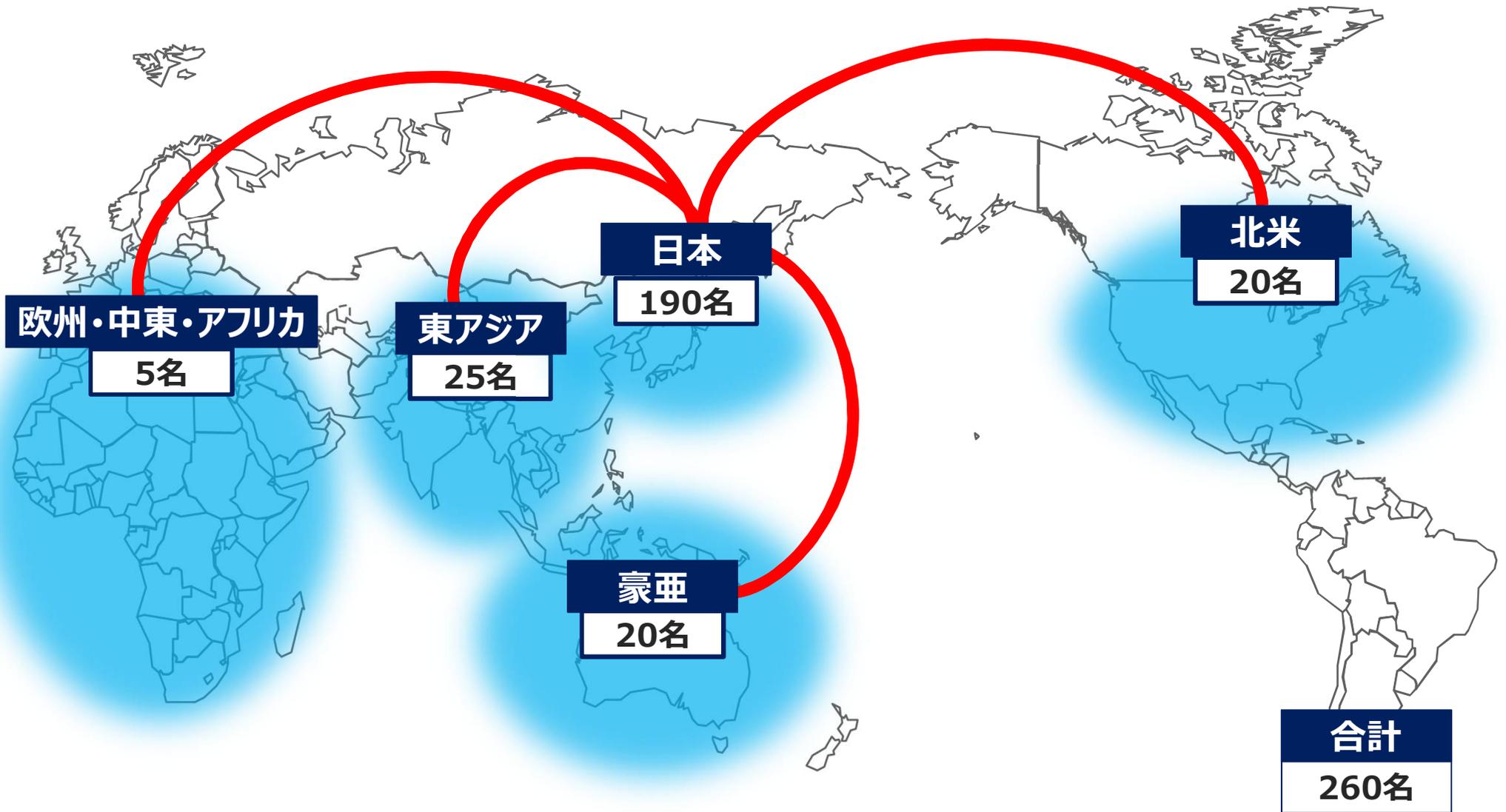
クリーンエネルギー需要  
の高まり



『当社の強み』 × 『伸びが予想される領域』 において更なる成長を目指す

## (2) ネクストモビリティ戦略 ~ネットワークの拡大~

2019年4月時点



ネクストモビリティのネットワークをグローバルに構築

## (2) ネクストモビリティ戦略 ～進捗報告～

### Step 1

#### 重要プレーヤーやスタートアップ企業との連携推進

**C**onected

【Airbiquity社出資】



モバイル通信を使った  
車載ソフトの更新

**A**utonomous

【トラック隊列走行】



**S**hared  
& **S**ervice

【Zipline社出資】



アフリカでの  
ドローン物流事業

**E**lectric

【富田電機資本参画】



【豊通リチウム】  
水酸化リチウム  
製造事業

### Step 2

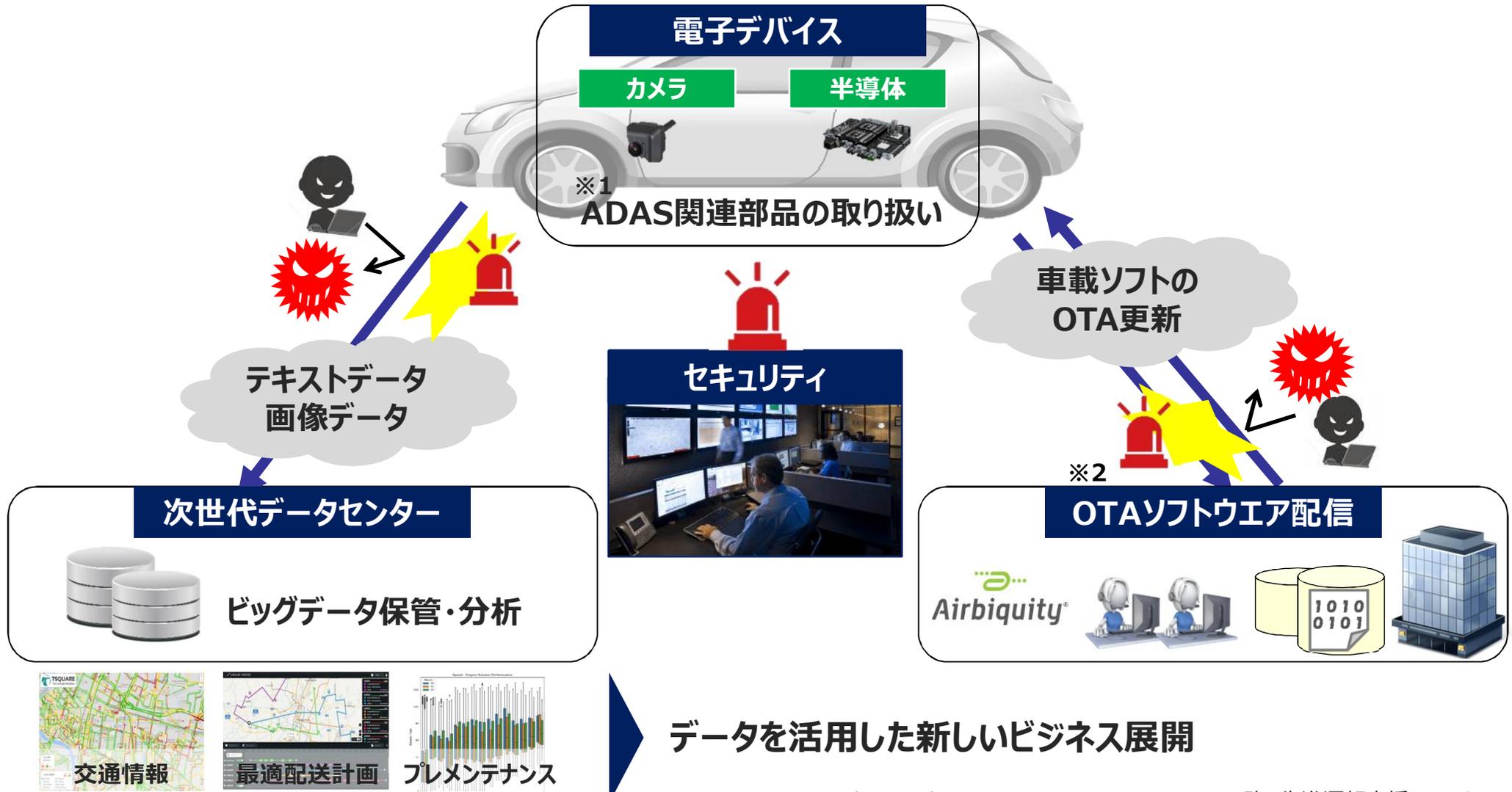
#### シナジー創造/量産技術の確立

### Step 3

#### ネクストモビリティ領域におけるマーケットリーダーへ

オープンな仲間づくりを通して、ネクストモビリティ領域におけるマーケットリーダーを目指す

## (2) ネクストモビリティ戦略 ～Connectedの取り組み～



※1 ADAS…Advanced Driver-Assistance Systemsの略。先進運転支援システム

※2 OTA…Over The Airの略。無線通信を経由して、ソフトウェアの更新を行うこと

**将来のモビリティサービスの基盤となるインフラサービスの提供を目指す**

## (2) ネクストモビリティ戦略 ～ネクストテクノロジーファンド第2号～

### 設立 狙い

- ✓ 未来を牽引し得る新技術・新サービスを活用した事業創造の促進
- ✓ 市場が未形成の分野での投資に対し、意思決定のスピード感を持って投資判断

### 概要

- ✓ 投資期間：2019年4月～2021年3月
- ✓ 金額制限：2年間の総額60億円

### 実績

- ✓ 1号ファンド実績（2017-18年度） -承認案件8件、承認金額約20億円
- ✓ 2号ファンド実績（2019-20年度） -承認案件4件、承認金額約9億円/総枠60億円

#### ◆ 出資先例

#### 案件概要

- |                           |   |
|---------------------------|---|
| ➢ Grab(ライドシェアサービス)        |    |
| ➢ マゼラン(高精度位置測位技術)         |  |
| ➢ Nuvve(Vehicle to Grid)  |  |
| ➢ 関西学院大学(SiC高品質化技術開発)     |  |
| ➢ Zipline(ドローン開発、配送運営)    |  |
| ➢ UVeye(車両検査省人化AI技術)      |  |
| ➢ Arithmer(AI人材確保とデジタル変革) |  |

# 1. 注力分野の進捗報告

## アフリカ



アフリカでのプレゼンス  
展開国 : 全54ヶ国  
従業員数 : 約15,500人



最後のフロンティア  
高い成長ポテンシャルを持つ



## ネクストモビリティ



日本最大の  
電子デバイス商社グループ



100年に一度と言われる  
自動車産業の転換期



## 再生可能エネルギー



国内風力発電業界の  
リーディングカンパニー

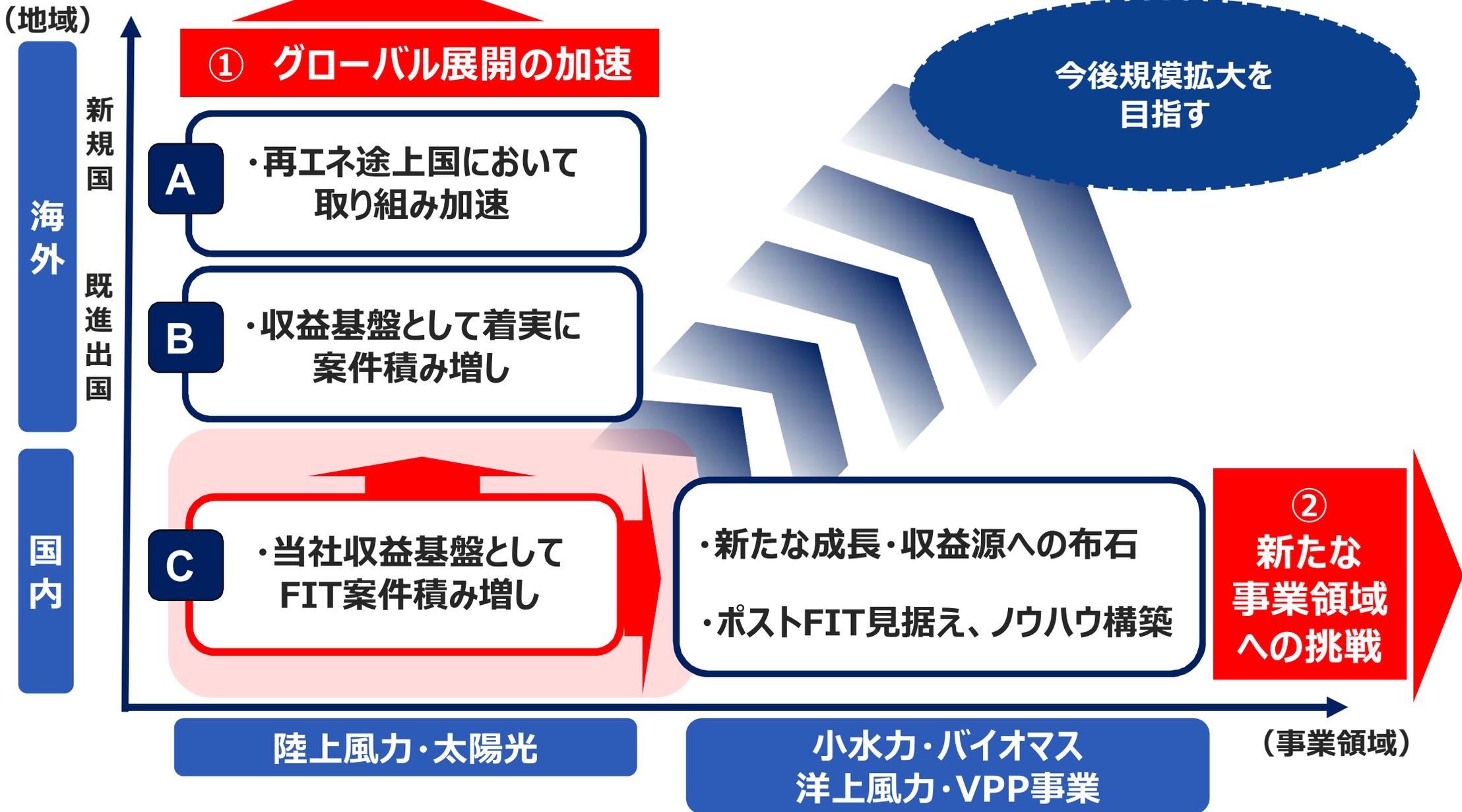


クリーンエネルギー需要  
の高まり



『当社の強み』 × 『伸びが予想される領域』 において更なる成長を目指す

# (3)再生可能エネルギー戦略 ～グローバル展開の加速、新たな事業領域への挑戦～



# (3)再生可能エネルギー戦略 ～グローバル展開の加速～

**B**

<欧州>  
2019年10月建設開始  
・オランダで3カ所の風力発電所建設  
(150MW)



-  風力
-  太陽光
-  建設および発電中
-  開発推進中

**C**

<国内>  
・道北案件の着実な推進  
(2024年3月期運転開始)

**A**

<アフリカ>  
2019年10月稼働開始  
・エジプト国初の風力発電  
(262.5MW)

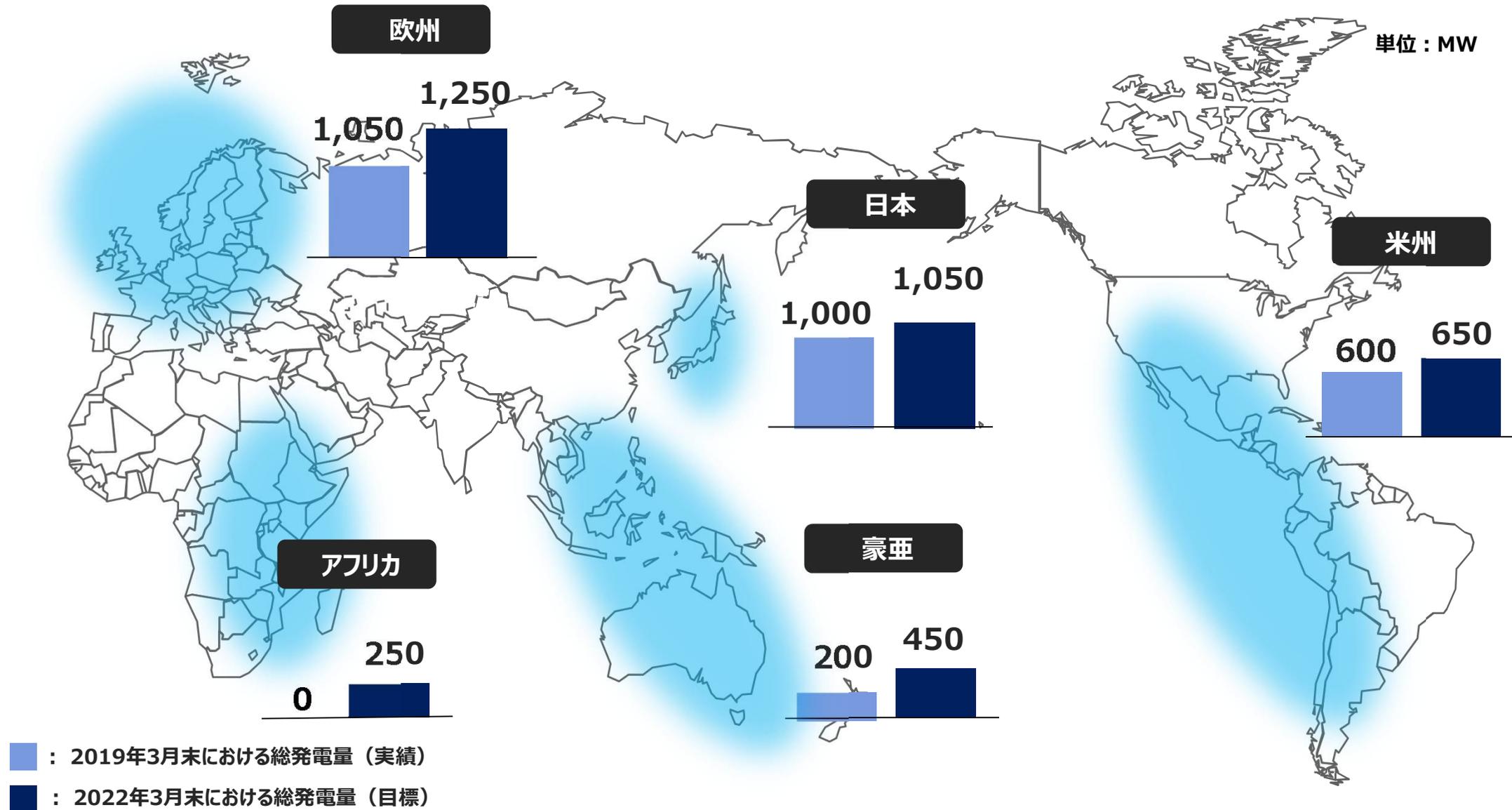


2019年10月末現在

既存国に加え、先進国やアフリカ諸国においても再生可能エネルギー事業を展開

### (3)再生可能エネルギー戦略

## ～今後3年間におけるユーラスの陸上風力、太陽光の展開～



再生可能エネルギー事業を世界中でバランス良く展開



Be the **Right ONE**

---

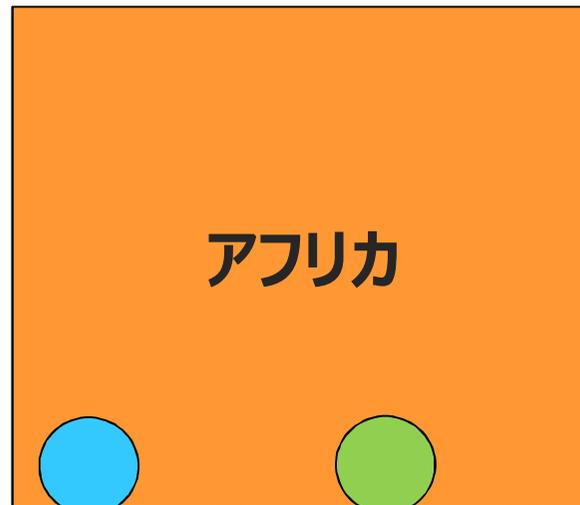
## 2. 注力分野の掛け合わせ

(1) アフリカ × ネクストモビリティ

(2) 再生可能エネルギー × アフリカ

(3) ネクストモビリティ × 再生可能エネルギー

## 2. 注力分野の掛け合わせ



(1) アフリカ × ネクストモビリティ

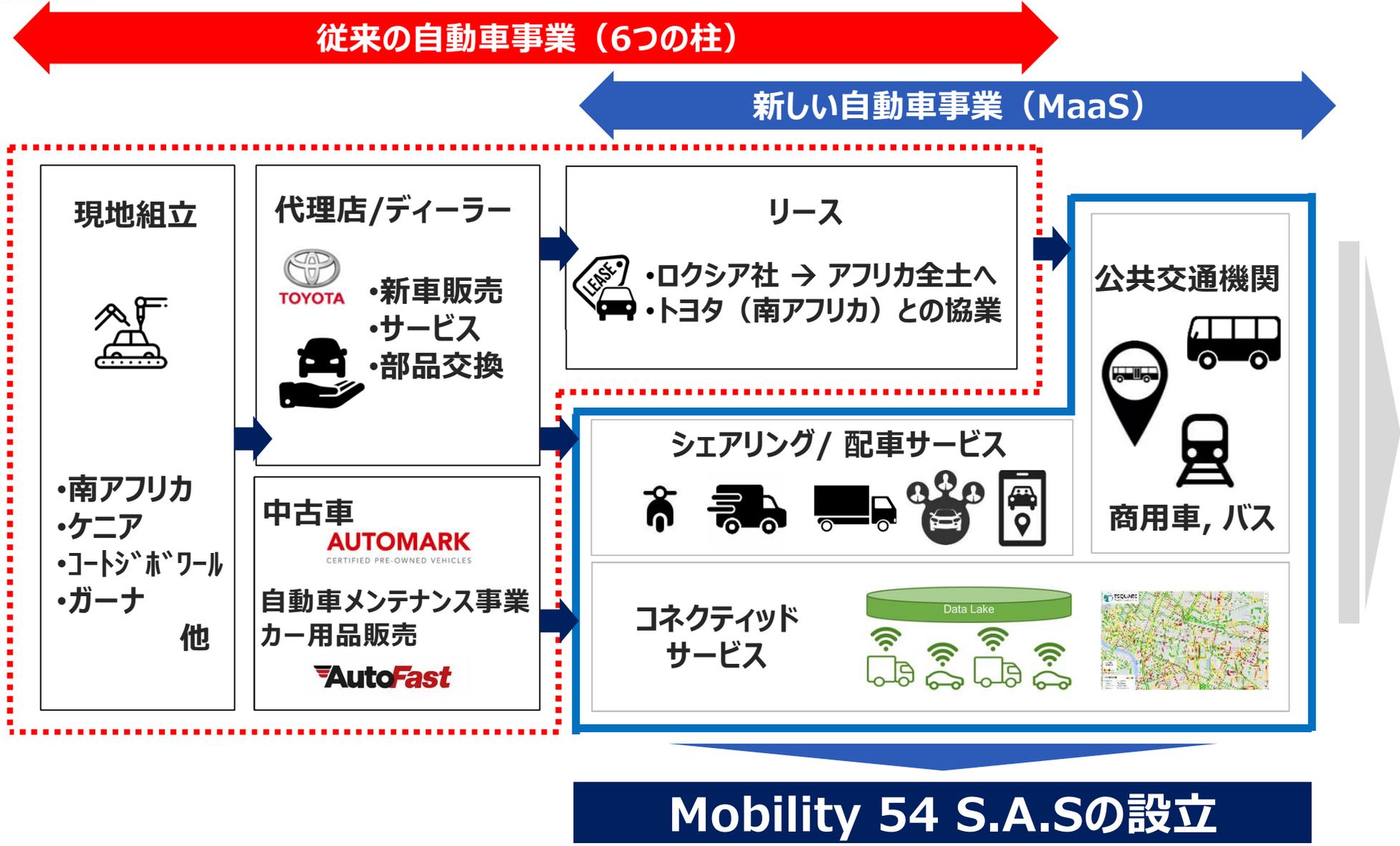
(2) 再生可能エネルギー × アフリカ



(3) ネクストモビリティ × 再生可能エネルギー

各分野の個別強化とともに、掛け合わせによる更なる強化を図る

# 注力分野の掛け合わせ事例： (1) アフリカ × ネクストモビリティ



アフリカにおけるMaaS/CASE事業の取り組みを加速

## 注力分野の掛け合わせ事例： (2) 再生可能エネルギー × アフリカ

エジプト国初の風力事業開始

Powerhive社とケニア無電化地域に  
ミニグリッド事業を展開



Windlabアフリカ社と風況分析、  
発電量予測による風力事業開発



東において構築した再エネ発電の知見を西へ展開

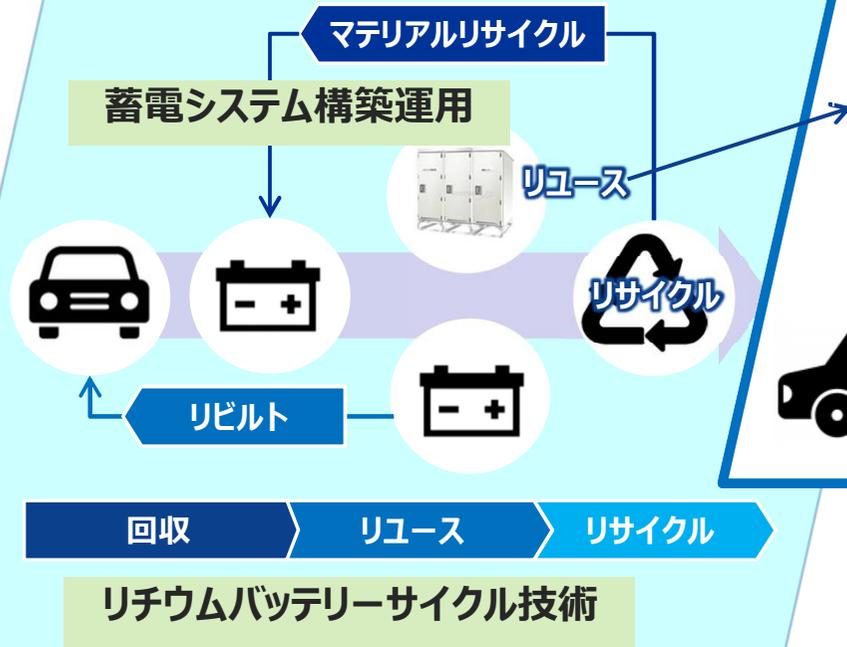
# 注力分野の掛け合わせ事例：

## (3) ネクストモビリティ × 再生可能エネルギー

### 電動化

#### バッテリー3Rビジネス

車載用中古バッテリーを蓄電池システムに仕立て再利用

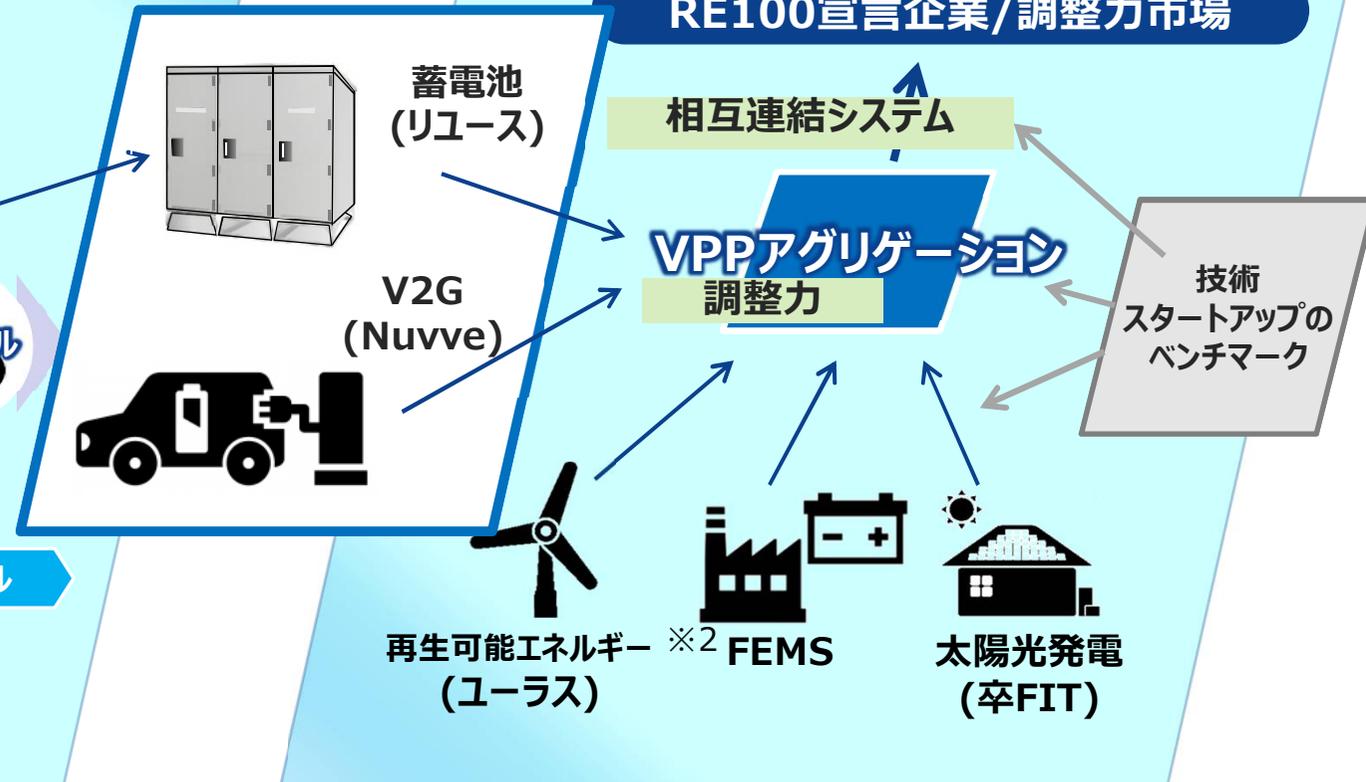


### 再生可能エネルギー

#### ※1 VPP

100%グリーンなエネルギーを束ね、販売

#### RE100宣言企業/調整力市場



※1…VPP…Virtual Power Plantの略。仮想発電所。

※2…FEMS…Factory Energy Management Systemの略。工場エネルギー管理システム。

新たな電力供給への取り組みを推進



Be the **Right ONE**

---

## 3. TICAD 7

# 第7回アフリカ開発会議（TICAD7）の狙いと結果

## 狙い

現地規制変更・事業環境整備・  
個別案件推進に向けた支援の獲得

パートナー企業(既存/潜在)  
との関係強化

当社プレゼンス向上

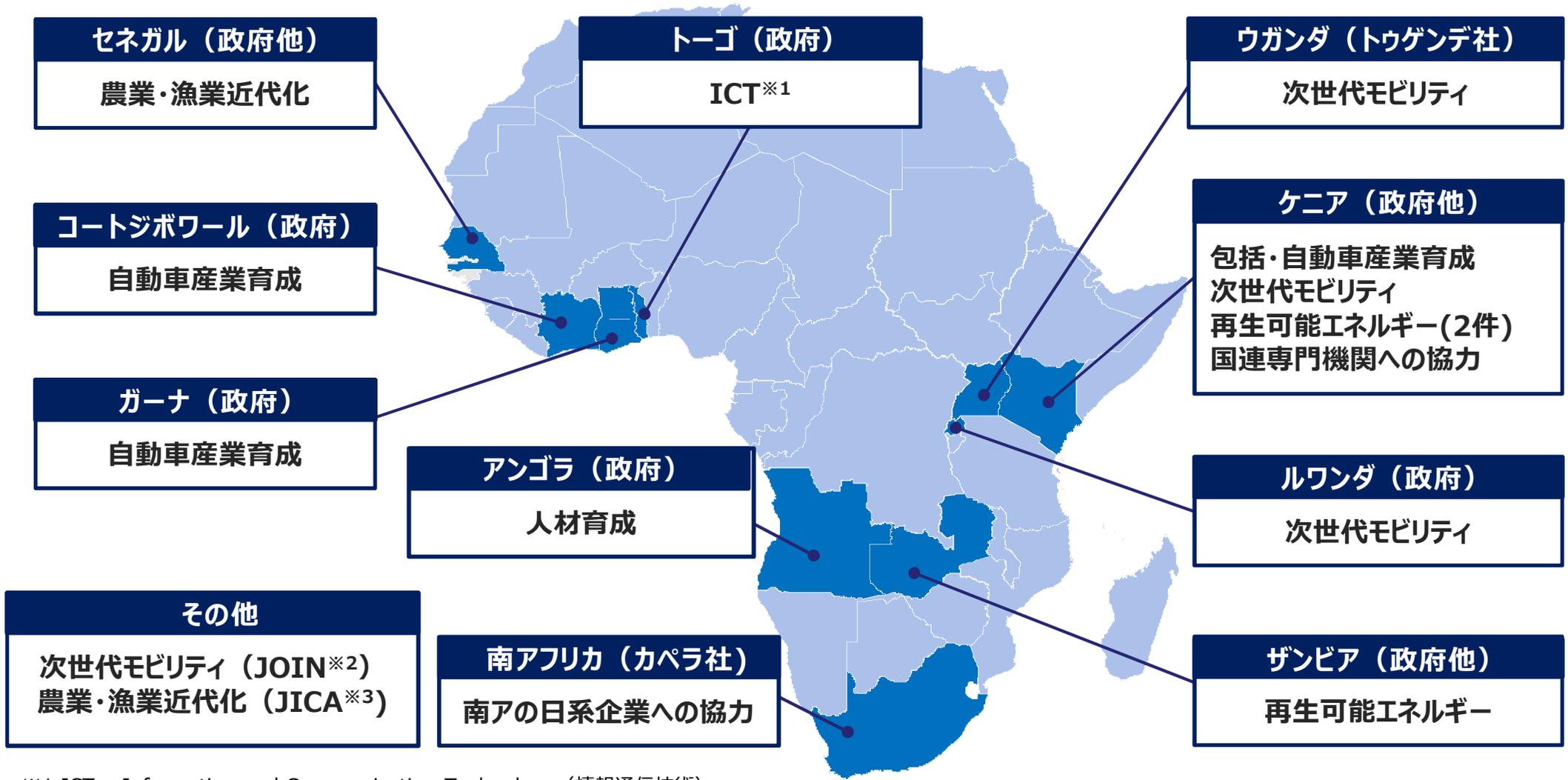
## 結果

- 13カ国の政府要人との面談実施
- 多岐にわたる16件のMOUを締結（前回9件）
- 当社主催シンポジウムに、90社以上の企業トップ/幹部が出席  
→ アフリカでのパートナーシップ強化・種まき
- 複数の民間企業と面談実施
- 最大の展示ブースを構え当社事業を最大限訴求
- 11件のサイドイベントに当社が登壇
- TVCM/日経記事/雑誌広告等による宣伝



TICAD7の3つの狙いは全て達成し、当社プレゼンスを発揮

# TICAD7の成果 ～アフリカ10カ国と16件のMOUを締結～



※1 ICT : Information and Communication Technology (情報通信技術)

※2 JOIN : 株式会社海外交通・都市開発事業支援機構

※3 JICA : 独立行政法人国際協力機構

**アフリカの経済発展へのさらなる貢献を目指す**

## 豊田通商株式会社 財務部 IR室

**E-mail** [ttc\\_ir@pp.toyota-tsusho.com](mailto:ttc_ir@pp.toyota-tsusho.com)

(東京本社)

**TEL** 03-4306-8201

**FAX** 03-4306-8818

◆ 当プレゼンテーション資料は、豊田通商株式会社およびそのグループ会社の戦略・経営計画など、歴史的事実でない「将来に関する見通し」を含んでいます。係る将来に関する見通しは、現時点において入手可能な期待・見積り・予想に基づいており、その性質上、これらの期待・見積り・予想はリスクや不確実性を内在しております。従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果、財務内容等は、係る将来に関する見通しにおいて明示的または黙示的に示される情報と大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。当社は、係る将来に関する見通しについて情報を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

◆ 当プレゼンテーション資料は、有価証券の募集・売却、販売、勧誘を目的とするものではありません。投資・その他のご判断にあたり、当資料の内容に全面的に依拠することはお控えくださいますよう、お願い申し上げます。